

エコアクション21

# 環境経営レポート



令和6年度

(令和6年10月1日 ~ 令和7年9月30日)

令和7年11月12日



YASUNAGA  
Since 1929

株式会社 安永組

# 目次

---

1 . 目次 . . . . .	1
2 . 環境経営方針 . . . . .	2
3 . 組織の概要 . . . . .	3
4 . 組織図及び認証・登録範囲 . . . . .	4
5 . 環境経営目標 . . . . .	5
6 . 環境経営計画 . . . . .	7
7 . 環境経営目標の実績と環境活動の 取組結果及び評価 . . . . .	9
8 . 次年度の環境経営計画 . . . . .	11
9 . 環境関連法規への違反、訴訟等の有無 . . . . .	13
10 . 代表者による全体評価と見直しの結果・指示 . . . . .	13

---

# 株式会社 安永組 環境経営方針

## 「基本理念」

株式会社 安永組は 深刻な地球環境問題に対応する義務と責任を認識し  
自然環境の維持向上に代表者以下全員が積極的に取り組み環境経営の  
継続的改善に努めます。

## 「環境経営方針」

株式会社 安永組は建築物の設計業務及び工事施工、また宅地建物取引業務  
において環境負荷の低減及び環境改善を図るために、以下の項目に積極的に  
取り組みます。

- 1 電力・自動車燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
- 2 水資源の節水による削減
- 3 紙資源の節約・リサイクル
- 4 廃棄物の削減・分別収集・リサイクル
- 5 グリーン購入の推進
- 6 エコ建築の設計(太陽光、ペアガラス、エコ給湯、エコ断熱)の積極的な提案
- 7 地域環境保全のため定期的な清掃ボランティアの実施

株式会社 安永組は環境に関する法規制等を遵守し、この環境方針を社内に  
掲示し全社員に周知徹底し意識の向上を図り、改善に努めます

令和 元年 12月 20日 改定  
株式会社 安 永 組  
代表取締役 安永 源五

### 3. 組織の概要

---

1 . 組織名及び代表者名	株式会社 安永組
	代表取締役 安永 源五

---

2 . 所在地及び連絡先	〒806-0022
	本社 : 福岡県北九州市八幡西区藤田1-10-33
	資材倉庫 資材置場 : 福岡県北九州市八幡西区町上津役東1
	TEL : 093-631-7111
	FAX : 093-641-2100(業務部)
	: 093-631-7101(工務部)
	Mail : <a href="mailto:info@yasunagagumi.co.jp">info@yasunagagumi.co.jp</a>
	URL : <a href="http://www.yasunagagumi.co.jp">http://www.yasunagagumi.co.jp</a>

---

3 . 事業内容	建築工事業	知事許可(特-3)第36164号
	土木工事業	知事許可(般-3)第36164号
	一級建築士事務所	知事許可1-20647号
	宅地建物取引業	知事許可(12)6564号

---

4 . 事業概要	創立	昭和 4年(1929年) 3月						
	法人設立	昭和42年(1967年) 3月						
	資本金	3,000万円						
	社員数	10名						
	事業年度	10月1日 ~ 9月30日						
	売上高 (百万円)	<table border="1"><thead><tr><th>R4年度</th><th>R5年度</th><th>R6年度</th></tr></thead><tbody><tr><td>564</td><td>584</td><td>560</td></tr></tbody></table>	R4年度	R5年度	R6年度	564	584	560
R4年度	R5年度	R6年度						
564	584	560						

---

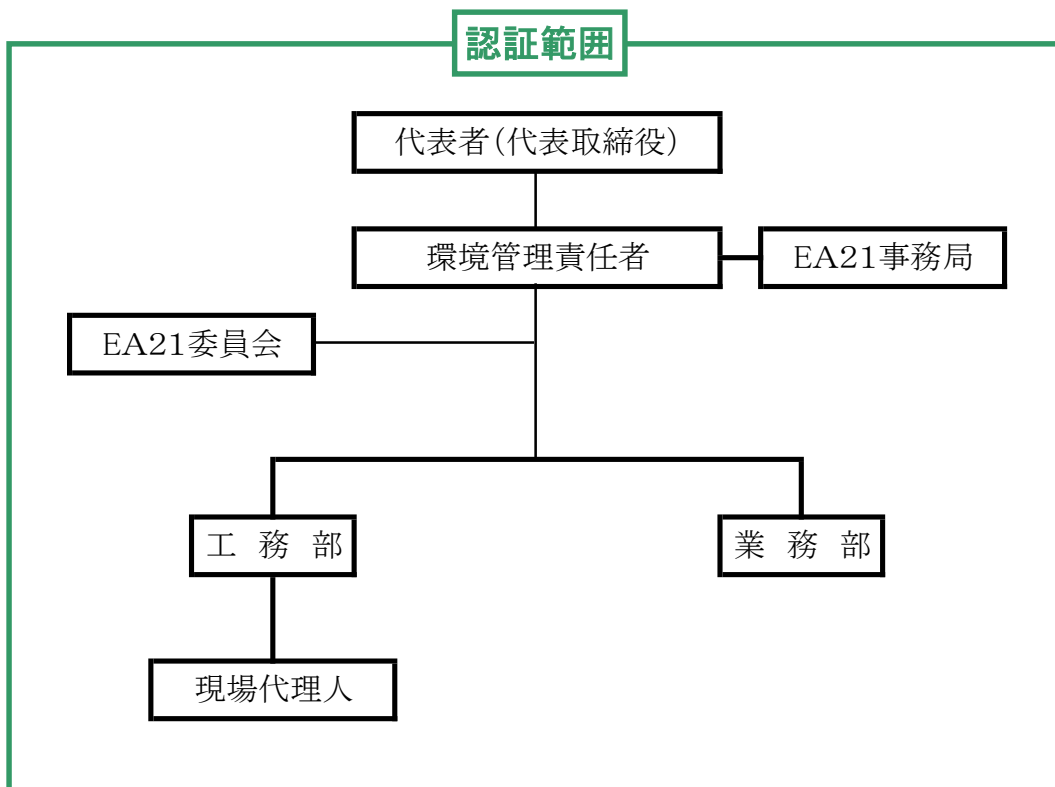
5 . 環境管理責任者	社 長 : 安永 源五
	TEL : 093-631-7111
	FAX : 093-641-2100(業務部)
	Mail : <a href="mailto:info@yasunagagumi.co.jp">info@yasunagagumi.co.jp</a>

---

6 . EA21事務局 担当者	業務部 : 安永 大祐
	TEL : 093-631-7111
	FAX : 093-641-2100(業務部)
	Mail : <a href="mailto:info@yasunagagumi.co.jp">info@yasunagagumi.co.jp</a>

---

#### 4. 組織図及び認証・登録範囲



※認証・登録の範囲は全社になります。

※認証・登録の対象活動範囲は全体で土木構造物及び建築物の設計・施工並びに宅地建物取引業務になります。

役割分担表	
役職名	役割 ・ 責任 ・ 権限
代表者	全体統括、環境方針の設定、環境への取組を実施するための資源の準備、全体の評価と見直し
環境管理責任者	環境経営システムを構築し、また運用し、その状況を代表者に報告する
EA21委員会	3ヶ月に一回開催し、環境目標の達成状況及び活動計画の実施状況を審議する
EA21事務局	EA21文書や記録類を作成し維持管理する。
業務部	EA21事務局業務
工務部	廃棄物の排出量の監理、リサイクル率管理、エコ建築の提案
現場代理人	建設現場のエネルギー削減 ・ リサイクル率管理、環境景観管理協力業者への指導

## 5. 環境経営目標

### (1) 事務所

環境目標	単位	基準値 (H22年～H24 年の平均値)	R6年度目標	R7年度目標	R8年度目標	
			目標値	目標値	目標値	
二酸化炭素排出量	kg-CO2	8,960.99	8,244.11以下 (8%)	8,244.11以下 (8%)	8,244.11以下 (8%)	
電気使用量	kWh	15,642.0	14,391以下 (8%)	14,391以下 (8%)	14,391以下 (8%)	
ガソリン使用量	km/ℓ	15.00	15.15以上 (1%)	15.30以上 (2%)	15.45以上 (3%)	
一般廃棄物	紙資源使用量	kg	213.93	196.81以下 (8%)	196.81以下 (8%)	196.81以下 (8%)
	可燃ごみ排出量	kg	109.30	100.56以下 (8%)	100.56以下 (8%)	100.56以下 (8%)
	廃プラスチック類	kg	10.93	10.06以下 (8%)	10.06以下 (8%)	10.06以下 (8%)
	新聞紙等	kg	93.73	86.23以下 (8%)	86.23以下 (8%)	86.23以下 (8%)
総排水量	m <sup>3</sup>	91	86以下 (5%)	86以下 (5%)	86以下 (5%)	
ECO設計及び施工の提案件数	件数 (※3)	4	8以上	8以上	8以上	
グリーン購入の推進総品目数	品目 総数	4	6以上	6以上	6以上	
地域の清掃ボランティア	回数	12	14以上	14以上	14以上	

備考：（ ）内%はH22年度、H23年度及びH24年度の実績を平均した値をベースとして削減率または向上率を示す。

取組年度は「10月1日～翌年の9月30日」

※1 (H22年度、H23年度、H24年度)の集計結果より環境目標の作成。

※2 CO2の排出量計算には、九州電力のR3年度の排出係数(調整後) 0.391kg-CO2/kWh を使用した。

※3 ECO設計の提案をした設計数を表示

## (2)建設現場

大項目	中項目	基準年度	R6年度 目標	R7年度 目標	R8年度 目標	
		(H22年～H24年 の平均)	目標値	目標値	目標値	
二酸化炭素排出量 の低減	i	電気使用量の低減 (kWh)	節電活動	節電活動	節電活動	
	ii	ガソリン使用量の 低減 (km/ℓ)	18.39	19.77以上	19.77以上	
	iii	軽油使用量の低減 (km/ℓ)	7.82	8.41以上	8.41以上	
	iv	二酸化炭素の低減 (kg-CO <sub>2</sub> )	—	—	—	
産業廃棄物排出量 の削減(※3)	i	産業廃棄物のリサ イクル率 (%)	90.00	90%以上	91%以上	92%以上
排水量の低減	i	節水活動の促進	節水活動	節水活動	節水活動	節水活動
環境コミュニケー ションの構築	i	現場の環境美化 (件数)	2	6	6	6

取組年度は「10月1日～翌年の9月30日」

※1 数的にあらわすのが難しい目標については環境活動を環境目標とする。

※2 過去の使用量(H22年度～H24年度)を参考に目標値を策定

※3 産業廃棄物はリサイクル率を目標とする。

※4 CO<sub>2</sub>の排出量計算には、九州電力のR3年度の排出係数(調整後) 0.391kg-CO<sub>2</sub>/kWh を使用した。

## 6. 環境経営計画

### (1) 事務所 <R6年度>

#### I. 二酸化炭素排出量の8%削減

取り組み項目	活動項目	責任者	活動計画(月)			
			10～12	1～3	4～6	7～9
i 電気使用量の8%削減	1 エアコンの設定温度を決め、実行する	業務課長		実	行	
	2 昼休みの消灯	業務課長		実	行	
	3 日中の太陽光の利用	業務課長		実	行	
	4 夜間の不要な照明の消灯	業務課長		実	行	
	5 長時間席を離れる時、パソコンの電源OFF	業務課長		実	行	
ii ガソリン使用量の1%削減	1 エコドライブの励行	業務課長		実	行	
	2 アイドリングストップの励行	業務課長		実	行	

#### II. 廃棄物排出量の8%削減

取り組み項目	活動項目	責任者	活動計画(月)			
			10～12	1～3	4～6	7～9
i 紙使用量の削減	1 ペーパーレス化の推進	業務課長		実	行	
	2 裏紙の利用	業務課長		実	行	
	3 ミス印刷、ミスコピーの防止	業務課長		実	行	
ii 廃棄物の分別	1 プラスチック、ペットボトル、ビン、カンの分別	業務課長		実	行	

#### III. 排水量5%の削減

取り組み項目	活動項目	責任者	活動計画(月)			
			10～12	1～3	4～6	7～9
i 節水活動	1 水道の水量節水及び閉め忘れ等のないようにチェック	杉山		実	行	

#### IV. ECO建築の設計提案 提案数8以上

取り組み項目	活動項目	責任者	活動計画(月)			
			10～12	1～3	4～6	7～9
i ECO建築の設計提案	1 太陽光パネルの設置提案	専務		実	行	
	2 給湯設備において、断熱化等による省エネルギーの提案	早谷		実	行	
	3 建物の断熱性能の向上のために、二重窓、ペアガラスの設置等の提案	岸上		実	行	
	4 高効率蛍光灯、インバーター照明等、照明機器の省エネルギー化の提案	松浦		実	行	
	5 敷地内、壁面、屋上などの緑化を提案	今井		実	行	
	6 節水型のトイレ等の導入の提案	今井		実	行	

#### V. グリーン購入の推進 品目数6以上

取り組み項目	活動項目	責任者	活動計画(月)			
			10～12	1～3	4～6	7～9
i グリーン購入の推進	1 エコ商品の調査	業務課長		実	行	
	2 エコ商品への切り替え	社長		実	行	

#### VI. 環境コミュニケーションの構築

取り組み項目	活動項目	責任者	活動計画(月)			
			10～12	1～3	4～6	7～9
i 事務所周辺の地域住民との環境コミュニケーションの推進	1 周辺の清掃ボランティアの実施	業務課長		実	行	

## (2) 建設現場 <R6年度>

### I. 二酸化炭素排出量の低減

取り組み項目	活動項目	責任者	活動計画(月)			
			10～12	1～3	4～6	7～9
i 電気使用量の低減	1 エアコンの設定温度を決め、実行する	専務	←	実 行	→	
	2 昼休みの消灯	専務	←	実 行	→	
	3 日中の太陽光の利用	専務	←	実 行	→	
	4 夜間の不要な照明の消灯	専務	←	実 行	→	
	5 長時間席を離れる時、パソコンの電源OFF	専務	←	実 行	→	
ii ガソリン使用量の低減	1 エコドライブの励行	業務課長	←	実 行	→	
	2 アイドリングストップの励行	業務課長	←	実 行	→	
iii 軽油使用量の低減	1 エコドライブの励行	業務課長	←	実 行	→	
	2 アイドリングストップの励行	業務課長	←	実 行	→	
iv 灯油使用量の低減	1 不要な暖房の排除	業務課長	←	実 行	→	

### II. 廃棄物排出量低減

取り組み項目	活動項目	責任者	活動計画(月)			
			10～12	1～3	4～6	7～9
i 紙使用量の削減	1 ペーパーレス化の推進	岸上	←	実 行	→	
	2 裏紙の利用	岸上	←	実 行	→	
ii 廃棄物の分別	1 廃棄物の分別を促進しリサイクル率の向上	松浦	←	実 行	→	

### III. 排水量の低減

取り組み項目	活動項目	責任者	活動計画(月)			
			10～12	1～3	4～6	7～9
i 節水活動	1 節水活動の推進	今井	←	実 行	→	

### IV. 環境コミュニケーションの構築

取り組み項目	活動項目	責任者	活動計画(月)			
			10～12	1～3	4～6	7～9
i 建設現場周辺の地域住民との環境コミュニケーションの推進	1 建設現場及び現場周辺の整理整頓、掃除	早谷	←	実 行	→	
	2 外部からの意見や苦情が発生した際に適切な対応を行うためのマニュアルの検討及び作成	早谷	←	実 行	→	

## 7. 環境経営目標の実績と環境活動の取組結果及び評価

### (1) 環境経営目標の実績(事務所)

	項目	R6年度目標値	R6年度実績値 (R6.10 ~ R7.9)	達成状況 (達成率)	
二酸化炭素排出量の削減	電気(kWh)	14,391.0	11,985.0	120.08%	
	ガソリン(km/ℓ)	15.15	16.11	106.34%	
	二酸化炭素 (kg-CO2)	8,244.11	5,817.07	141.72%	
廃棄物排出量の削減	一般 廃棄物	紙資源(kg)	196.81	171.9	114.49%
		可燃ごみ(kg)	100.56	92.3	108.95%
		プラスチック(kg)	10.06	7.08	142.09%
		新聞紙(kg)	86.23	67.5	127.75%
総排水量の削減	総排水量(m <sup>3</sup> )	86.00	84.00	102.38%	
ECO設計の提案件数	総数(件)(※3)	8	8	100.00%	
グリーン購入の促進	総数(品目)	6	6	100.00%	
地域の清掃ボランティア	総数(回)	14	14	100.00%	

※1 目標値に対し100%以上を達成とし、100%未満を未達成とする。また、94%以下を是正処置の対象とし目標の変更を含めた計画の見直しを行なう。

※2 CO2の排出量計算には、九州電力のR3年度の排出係数(調整後) 0.391kg-CO2/kWh を使用した。

※3 ECO設計の提案をした設計数を表示

### (2) 環境目標の実績(建設現場)

大項目	中項目	R6年度目標値	R6年度実績値 (R6.10 ~ R7.9)	達成 状況
I 二酸化炭素 排出量の低減	i 電気使用量の低減	節電活動	15,461	
	ii ガソリン使用量(km/ℓ)の低減	19.77	20.16	101.97%
	iii 軽油使用量(km/ℓ)の低減	8.41	9.30	110.58%
	iii 二酸化炭素(kg-CO2)の低減		17,011.84	
II 産業廃棄物 排出量の削減	i 産業廃棄物のリサイクル率 (%)	90	95.5	106.11%
III 排水量の低減	i 節水活動の促進	節水活動	節水活動	100.00%
IV 環境コミュニケーションの 構築	i 現場の環境美化(件数)	6	6	100.00%

※1 現場では数値目標を設定するのが困難な物もあるため、数値設定できないものに関しては環境活動を環境目標とし実施する。

※2 目標値に対し100%以上を達成とし、100%未満を未達成とする。また、94%以下を是正処置の対象とし目標の変更を含めた計画の見直しを行なう。

※3 産業廃棄物はリサイクル率を目標とする。

※4 CO2の排出量計算には、九州電力のR3年度の排出係数(調整後) 0.391kg-CO2/kWh を使用した。

## (3) 取組結果及び評価

### 1. 事務所

- ① 二酸化炭素排出量の削減
  - ・社員の協力のもとエコ活動を行い目標を達成することができた。(120.08%)
  - エコ運転を行うことでより安全で環境にも配慮した運転を心掛けた。(106.34%)
  - 二酸化炭素の排出量も目標を達成することが出来た。(141.72%)
  - ・新型コロナ対策及びインフルエンザ等の予防として部屋の換気及び手洗いを定期的に行った。
- ② 廃棄物排出量の削減
  - ・目標を達成するとともに、ごみ削減活動も計画的に行うことが出来た。
  - ・活動を継続して排出量の削減に努める。
- ③ 総排水量の削減
  - ・水の出しすぎ等に注意し、水の削減をすることが出来た。
  - ・今後も節水活動をおこなっていく。
- ④ ECO設計の提案件数
  - ・環境に配慮した提案を行うことが出来た。
  - ・今後も、継続して提案をしていけるようにする。
- ⑤ グリーン購入の促進
  - ・エコ商品への切替及び、購入は目標を達成することが出来た。
  - ・環境に配慮した商品の検討及び購入を計画的に行っていく。
- ⑥ 地域清掃ボランティア
  - ・地域の清掃を定期的に行うことが出来た。
  - ・今後も、会社周辺の住民への挨拶や見守り活動を行い環境コミュニケーションに励む。

### 2. 建設現場

- ① 二酸化炭素排出量の削減
  - ・前期に引き続き熱中症対策を中心に従業員・協力業者の体調に配慮しながら環境活動を行った。
  - ・作業車はできるだけ省エネの物を使用するとともに場内・場外での安全運転を心掛けた。
- ② 産業廃棄物排出量の削減
  - ・PDFや電子データを活用し、ペーパーレス化に努めた。
  - ・今期から、排出量ではなくリサイクル率を目標に変更し、廃棄物の削減に努めることとした。
- ③ 総排水量の削減
  - ・現場内のチェックを行い水の出しっぱなしがないか確認し、適切な水使用を心掛けた。
  - ・感染症対策や熱中症対策に必要な水分補給や手洗いなどについては積極的な活動を行った。
- ④ 環境コミュニケーションの構築
  - ・現場内外の整理整頓及び現場周辺の清掃を行った。
  - ・地域環境に負荷のかかる作業については事前に周知し地域とのコミュニケーションに努めた。
  - ・現場周辺とのコミュニケーションを図り、コミュニケーション不足による苦情等が発生しないように心掛けた。

## 8. 次年度の環境経営計画

### (1) 事務所〈R6年度〉

#### I. 二酸化炭素排出量の8%削減

取り組み項目	活動項目	責任者	活動計画(月)			
			10～12	1～3	4～6	7～9
i 電気使用量の8%削減	1 エアコンの設定温度を決め、実行する	業務課長		実	行	
	2 昼休みの消灯	業務課長		実	行	
	3 日中の太陽光の利用	業務課長		実	行	
	4 夜間の不要な照明の消灯	業務課長		実	行	
	5 長時間席を離れる時、パソコンの電源OFF	業務課長		実	行	
ii ガソリン使用量の2%削減	1 エコドライブの励行	業務課長		実	行	
	2 アイドリングストップの励行	業務課長		実	行	

#### II. 廃棄物排出量の8%削減

取り組み項目	活動項目	責任者	活動計画(月)			
			10～12	1～3	4～6	7～9
i 紙使用量の削減	1 ペーパーレス化の推進	業務課長		実	行	
	2 裏紙の利用	業務課長		実	行	
	3 ミス印刷、ミスコピーの防止	業務課長		実	行	
ii 廃棄物の分別	1 プラスチック、ペットボトル、ビン、カンの分別	業務課長		実	行	

#### III. 排水量5%の削減

取り組み項目	活動項目	責任者	活動計画(月)			
			10～12	1～3	4～6	7～9
i 節水活動	1 水道の水量節水及び閉め忘れ等のないようにチェック	杉山		実	行	

#### IV. ECO建築の設計提案 提案数8以上

取り組み項目	活動項目	責任者	活動計画(月)			
			10～12	1～3	4～6	7～9
i ECO建築の設計提案	1 太陽光パネルの設置提案	専務		実	行	
	2 給湯設備において、断熱化等による省エネルギーの提案	早谷		実	行	
	3 建物の断熱性能の向上のために、二重窓、ペアガラスの設置等の提案	岸上		実	行	
	4 高効率蛍光灯、インバーター照明等、照明機器の省エネルギー化の提案	松浦		実	行	
	5 敷地内、壁面、屋上などの緑化を提案	今井		実	行	
	6 節水型のトイレ等の導入の提案	今井		実	行	

#### V. グリーン購入の推進 品目数6以上

取り組み項目	活動項目	責任者	活動計画(月)			
			10～12	1～3	4～6	7～9
i グリーン購入の推進	1 エコ商品の調査	業務課長		実	行	
	2 エコ商品への切り替え	社長		実	行	

#### VI. 環境コミュニケーションの構築

取り組み項目	活動項目	責任者	活動計画(月)			
			10～12	1～3	4～6	7～9
i 事務所周辺の地域住民との環境コミュニケーションの推進	1 周辺の清掃ボランティアの実施	業務課長		実	行	

## (2) 建設現場 <R6年度>

### I. 二酸化炭素排出量の低減

取り組み項目	活動項目	責任者	活動計画(月)			
			10～12	1～3	4～6	7～9
i 電気使用量の低減	1 エアコンの設定温度を決め、実行する	専務	←	実 行	→	
	2 昼休みの消灯	専務	←	実 行	→	
	3 日中の太陽光の利用	専務	←	実 行	→	
	4 夜間の不要な照明の消灯	専務	←	実 行	→	
	5 長時間席を離れる時、パソコンの電源OFF	専務	←	実 行	→	
ii ガソリン使用量の低減	1 エコドライブの励行	業務課長	←	実 行	→	
	2 アイドリングストップの励行	業務課長	←	実 行	→	
iii 軽油使用量の低減	1 エコドライブの励行	業務課長	←	実 行	→	
	2 アイドリングストップの励行	業務課長	←	実 行	→	
iv 灯油使用量の低減	1 不要な暖房の排除	業務課長	←	実 行	→	

### II. 廃棄物排出量低減

取り組み項目	活動項目	責任者	活動計画(月)			
			10～12	1～3	4～6	7～9
i 紙使用量の削減	1 ペーパーレス化の推進	岸上	←	実 行	→	
	2 裏紙の利用	岸上	←	実 行	→	
ii 廃棄物の分別	1 廃棄物の分別を促進しリサイクル率の向上	松浦	←	実 行	→	

### III. 排水量の低減

取り組み項目	活動項目	責任者	活動計画(月)			
			10～12	1～3	4～6	7～9
i 節水活動	1 節水活動の推進	今井	←	実 行	→	

### IV. 環境コミュニケーションの構築

取り組み項目	活動項目	責任者	活動計画(月)			
			10～12	1～3	4～6	7～9
i 建設現場周辺の地域住民との環境コミュニケーションの推進	1 建設現場及び現場周辺の整理整頓、掃除	早谷	←	実 行	→	
	2 外部からの意見や苦情が発生した際に適切な対応を行うためのマニュアルの検討及び作成	早谷	←	実 行	→	

## 9. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

---

当事業所に適応される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、下記の通り違反等はありませんでした。また、今年度も関係機関等からの指摘事項及び利害関係者からの訴訟もありませんでした。

環境法規制等の名称/略称	評価結果
廃棄物処理法	○
建設リサイクル法	○
大気汚染防法	○
建築基準法	○
騒音規制法	○
振動規制法	○
住宅品質確保法	○
室内空気汚染に係るガイドライン	○
石綿飛散漏洩防止対策徹底マニュアル	○

## 10. 代表者による全体評価と見直しの結果・指示

---

継続的な物価高が続き資材の高騰等、経営に負荷のかかる外的要因が多い一年でした。また、夏の猛暑もあり現場での作業にも影響が出ています。その中で社員一同できる範囲で環境活動を行うことが出来ました。

今期は廃棄物の排出についての目標の変更を行いました。今後も状況に応じて目標を改善し、持続可能な環境活動への取り組みを行っていきます。

代表取締役 安永 源五